

授業科目 [心理コンピュータ実習Ⅱ(2年生後期／実習科目／選択)]

目的・ねらい

本科目では、調査の企画から、質問紙の設計、実施手続き、集計、統計学的解析、報告書の作成まで、調査の全過程を一通り体験的に学習することで、学生が自ら調査を企画し、実施していく能力とその際に必要な倫理観とマナーを養う。授業はグループに分かれて、調査テーマを決定し、仲間と協力しながら得られたデータの整理・分析からレポート作成までの一連の共同作業を行ない、これらの体験を通して実証的な研究の進め方を学ぶ。
学修成果と評価については、報告書及び発表の成績(50%)、受講態度(50%)で総合評価する。学習管理システム(マナバコース)を使って課題を提出してもらう。

到達目標	・有意意味な調査企画・調査票の作成ができる。 ・具体的なデータの入力から加工、集計・分析、報告のプロセスを理解し、自らが調査を実施していくことができる。 ・プレゼンテーションの技法を用いて結果を発表することができる。
------	--

	内 容 項 目		レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1
1	問題発見・ 計画実行力	調査テーマの選択	実社会における重要な心理学的テーマを選び、その意義についても明確化できている。	指示された範囲内で、自分の興味関心を踏まえてテーマを選ぶことができる。	指示された範囲内でテーマを選ぶことができる。	指示された範囲内のテーマを選ぶことができない。
2		調査票の作成・実施	創造的思考をもって、緻密な計画を立てた調査票を作成し、実施できている。	計画に沿った調査内容が構成できている。	計画に沿った調査内容が概ね含まれている。	調査内容が不十分である。
3	数量的スキル	統計処理	指示された統計分析ができ、その結果について完全に理解して記述できている。	指示された統計分析ができ、その結果について、部分的に誤った内容が含まれてはいるものの概ね記述できている。	基本的な統計分析については理解しているが、指示された統計分析については教えてもらいながらだとうできる。	基本的な統計分析についても理解できていない。
4		図表の作成	タイトル、図表種別の選択、伝わりやすい作図作表表現、図表に対する正確なコメント等全て適切にできている。	単に自動的に作図作表させたものではなく、伝わり易さを意識した配慮や工夫がなされている。	タイトルや凡例といった、図表を構成する各要素について、概ね不足なく書かれている。	タイトルや図表に対するコメントが部分的に書かれていない。
5	レポート力	レポートの基本構成	レイアウトを含め、調査レポートの体裁として完成されている。	基本的な5つの章構成で正しく書かれている。	基本的な5つの章構成が明示されている。	調査レポートに求められている基本的な章構成になっていない。
6		目的に関する記述	目的に関する十分な理論的説明に加え、目的に沿った仮説を明確に記述できている。	調査目的を明確にするための背景の説明が加えられている。	提示した目的を、概ね間違いなく記述できている。	記述が省略されすぎていて、目的の説明として不十分である。
7		方法に関する記述	調査内容や手順など提示された方法を追試可能なレベルで記述されている。	提示した方法を明確に記述できている。	提示した方法を概ね記述できている。	触れられていない(記入漏れの)方法がある。
8		結果に関する記述	調査結果を整理し、理解しやすい形式で適切に記述されており、考察にスムーズに繋がっている。	結果のみの記述でなく、読み手の理解を促進する説明が付け加えられている。	調査で行った結果について、記述に必要なものは網羅できている。	触れられていない(記入漏れの)結果がある。
9		考察に関する記述	結果に対する解釈について、他の研究にもあたりつつ、根拠を示しながら客観的かつ理論的に述べられている。	結果に対する解釈について、ある程度、客観的な推論ができている。	自らの主観的な推論に留まってはいるが、調査結果に対する解釈が概ねできている。	単なる感想に留まっている。
10		文献に関する記述	レポート内での引用方法、引用箇所と文献との対応、引用・参考を分けた表記方法が全て適切である。	文献の表記方法は完全ではないが、レポートに含まれる文献を不足なく記述できている。	引用・参考の別について理解不十分な点はあるが、文献としての体裁が整えられている。	文献の表記方法を正しく理解できていない。
11	プレゼンテーション能力	調査結果の発表	プレゼンテーション全体を通して、発表に必要な要素を取捨選択し、筋道の立った順序で明確に説明している。	プレゼンテーション全体を通して、調査で明らかになったことを概ね筋道の立った順序で説明している。	発表に必要な情報が一部不足しているが、プレゼンテーション全体を通して、調査で明らかになったことを説明している。	発表の際に必要なことを伝えず、道の立っていない順序で羅列的に説明している。
12	態度・志向性	倫理観	調査対象者への倫理的配慮が適切に行われている。	調査対象者への倫理的配慮が概ね適切に行われている。	調査対象者への倫理的配慮がやや不足している。	調査対象者への倫理的配慮が全く不足している。
13		授業参加(チームワーク)	作業分担を話し合い、一部のグループメンバーに負担がかかることなく協力して取り組んでいる。	一部のグループメンバーに負担がかかる場面はあったが、概ね協力して取り組んでいる。	作業分担は行ったが機能せず、ほとんど一部のグループメンバーにやってもらった面がある。	グループメンバーと協力して取り組めていない。